



椿西コミュニティ

VOL.53

2012年12月19日

椿西小学校学校運営協議会 発行

こころひとつ わくわくステージ

椿保育園 園長 須山 敏子

今年度、10年ぶりに椿保育園に帰ってきました。そして、学校運営協議会委員の任命をいただき、会に出席しましたところ、役員の中に、お子さんが保育園のときに園の活動を支えてくださった方がおられました。その方は、小学校でも活動されており、その姿に心温まる思いがしました。さて、会ではコミュニティ活性化委員会に加わらせていただいています。月に一度の放課後子ども教室では、他の委員、先生、地域の方々のお力を借りしバラエティに富んだ企画をしています。そうしてむかえましたPTAふれあいバザーの「わくわくステージ」で司会をすることになりました。1時間という短い時間でしたが、保育園児、小学生、中学生、先生と、出演者のドキドキ感や一生けん命な表情と観客の拍手に、みんなつながって頑張っているなど司会をしながら感心しました。小学校でこんなステージができるなんて、素晴らしいと思いませんか。また、先生方のアンコールの歌は、観客からも一緒に歌いたいと声があがり大合唱となりました。その歌は、中島みゆきさんの「糸」です。人と人の出会いを糸にたくした「たての糸はあなた 横の糸はわたし 逢うべき糸に出逢えることを 人はしあわせと呼びます」の歌声は、会場を温かくつつみました。わくわくステージに出演してくれたみなさん、そして、会場のみなさん、ありがとうございました。これからも私のできる力で人との出会いやかかわりを大切に努力していきたいと思ひます。



「笑顔を合わせることの喜びと大切さ」

萩市立萩東中学校 教頭 岡田 淳子



今年度から、椿西小学校学校運営協議会の一員として、参加させていただいております。

昨年度も代理で出席することがあり、何もわからない萩の地で椿西小学校を取り巻く保護者、地域の皆様との温かいムードのお顔合わせを少しずつさせていただいておりましたので、スムーズに加わることができました。椿西小学校の7年間に及ぶコミュニティ・スクールのお取り組みの積み重ねが学校・保護者・地域間の潤滑油のような役目を持ち、まさに「地域とともにある学校」であると感じ入っております。萩東中学校でも、今年度から文部科学省のコミュニティ・スクール推進校として指定を受け、現在試行錯誤しながら方向性を探っておりますが、中学校区内にすばらしいお手本があり心から感謝しております。

やはり、どんな会議でも様々な立場の方々が一堂に会し、顔を合わせて意見を述べ合うことは大変大切なことと思ひます。笑顔であいさつし、意見を述べ合い、時にはたたかわせ、解決策をともに見だし、笑顔でお別れするという人類が積み重ねてきたコミュニケーションの原点を忘れず、これからも様々なことにかかわっていけたらと考えています。

コミュニティ先生紹介 No.2

本年度のコミュニティだよりでは、椿西小学校の子どもたちを支えてくださっているたくさんの地域の方や団体の方の活動の様子をシリーズでご紹介しています。

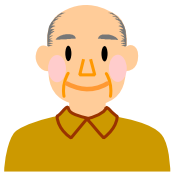
本読み姫

平成9年に発足し、今年で15年！

子どもたちに本を大好きになってもらおうと、平成9年に発足しました。

当時は毎週木・土曜日に実施していましたが、現在は毎週木曜日に実施しています。時間は、8:10~8:25です。我が子が椿西小学校を卒業しても、ずっと本読みに来てくださる母さんが何人もおられます。

「本読み姫」という名称は、当時の1年生の担任の先生が名付けられたそうです。とてもいい名前ですね。



椿寿会

習得した知識や技術を生かす

椿地区に住む60歳以上の方の会で、椿西小学校に来ていただくようになったのは、残っている記録によると平成13年度からです。最初は、年2回くらい来ていただいていたのですが、平成17年度からは、教科・生活・総合の分野で年間7回くらい来ていただくようになりました。

戦争体験を語っていただいたり、針や糸の使い方を習ったり、昔の遊びやしめ飾りづくりなども教えていただいたりしています。子どもたちも、椿寿会の方とのふれ合いを楽しみにしています。



戦争体験を語る（6年）



裁縫教室（5年）



昔の遊び（1年）